

巻頭言

祝 高市早苗総理誕生

会長 山崎 學



2020年11月某日、乃木坂のとある中華料理屋で安倍晋三元総理を囲んで夕食をしていた。安倍晋三先生はいつもの通りに安倍ジョークを連発して場を和ませていた。話題が途切れた時に「先生、高市早苗議員と食事する機会をつくっていただけないでしょうか」とお願いしたところ、即座に携帯電話を取り出して高市早苗議員に「君のファンがここにいるけど時間つくれる？」と連絡していただいて、12月某日赤坂某所で安倍晋三先生、高市早苗先生の三人で食事する機会をもった。以来、男勝りの高市節に惑わされて虜になっている。安倍晋三先生亡き後の清和政策研究会（清和会）潰しの政変で自民党は迷走し続け、中国は内政干渉し、オールドメディアから執拗な攻撃をうけた。リベラルを自称する左巻きの輩は安倍晋三先生存命中は「モリカケ問題」「桜を見る会問題」で執拗に安倍晋三先生を追い回し、次は清和会潰しで政治資金不記載問題を「裏金問題」と騒ぎ立て、国際的紛争から端を発したエネルギー価格、物価高騰で苦しむ国民の窮状を慮ることなく政争に明け暮れた。自民党政治が終焉を迎えようとしていた矢先に自民党党员・党友を中心に高市待望論が沸々と湧き出し、オールドメディア、中国共産党の支配下にあると思われるK党の妨害工作を跳ねのけて高市早苗内閣が誕生したのは大きな喜びである。高市早苗議員のどこが気に入ったのか。「我が国の国民の生命、財産、国土・領空・領海を守る」と端的な表現でいい切った器量であり、靖国参拝に対して「我が国の繁栄の礎を築いた英霊に対して哀悼の誠を捧げる」といい切った器量である。

オールドメディアが中国共産党のご機嫌取りのごとく靖国神社参拝を取り上げるが、そもそも対日戦勝国の連合国による軍事裁判は一方的で公平性を欠いている。A級戦犯合祀にしても国際裁判所で適正な裁判を行わないままA級・B級戦犯含めて数千人の処刑を行った暴挙こそ非難されるべきだと考えている。さらに、敗色濃い中で米国が行った東京大空襲、広島・長崎での原子爆弾による一般市民の大量殺戮こそ超A級戦犯行為である。それにもかかわらず、戦後のGHQによる洗脳作戦に乗せられたのか、あるいは恣意的なのか、マスコミは、ABCD包囲網に乗せられて軍部が暴走した責任を日本国民すべてに背負わせる世論誘導を戦後80年間行ってきたことへの反省は微塵も感じられない。今の若い世代まで十字架を背負わせるのはおかしいと第一次安倍内閣で安倍晋三先生が提唱した「戦後レジームからの脱却」により、片が付いたと思っていたが、石破茂前総理が最後っ屁で反省猿談話を出して中国・韓国のご機嫌取りに走った。幸いにして自民党総裁選の喧騒に紛れて大きく報道されることなく終わったが。

「石破だけは絶対総理にさせるな」といった安倍晋三先生の遺訓を守らなかった石破総理誕生に手を貸した自民党議員は次回の選挙で国民を不幸にした罪で弾劾されるべきである。

今月 85 歳になる。この先何年生きるか神のみぞ知る状態で生きながらえさせてもらっている。長年生きてきた生き様を変えるつもりはない。世に逆らって物を申すと「先生は右翼ですね」といわれることがある。左傾化している中で中道でも右翼扱いされるのが気に食わない。私は右翼ではない。自称愛国者である。国を愛して何が悪い。